

苫小牧市との連携および協力に関する協定が締結されました

2021年7月26日(月)、本学と苫小牧市が連携・協力することについて、浅香正博学長と若岩博文苫小牧市長の署名により協定が締結されました。

これは、昨年、本学先端研究推進センターの調査研究事業が厚生労働省の社会福祉推進事業に採択され、苫小牧市が研究のフィールドの一つとなったことが契機となったもので、双方が有する資源を有効に活用し、地域福祉の増進や人材育成、学術の振興などが目的とされています。本学が自治体と連携協定を締結するのは当別町、滝川市(いずれも2013年)に続いて3件目となります。



歯学部学生がCO₂濃度測定器を開発しました

本学ではコロナ禍において学生・教職員が安心して学び、働くことができる環境を整えるために様々な取り組みを行っていますが、この度、本学歯学部3年の山下雅穂さんと歯学部教員が独自に「CO₂濃度測定機」を開発しました。

本機は設置場所のCO₂濃度と室温を常時計測し、換気の必要性について簡単にチェックできる機器です。インターネットを通じて遠隔でのモニター監視が可能となっており、現在は歯学部の全教室に設置しているほか、新型コロナウイルスワクチン接種(職域接種)会場にも設置し、換気と温度管理に役立てています。今後は他学部の教室や歯学部同窓の歯科医院等での活用も検討しています。



福祉キャリアフェスタ(就職相談会)を開催しました

2021年7月16日(金)、北海道医療大学福祉キャリアフェスタ(就職相談会)が開催されました。今回は、本学初の試みとなるオンラインでのシンポジウム方式にて開催となりました。

当日は病院・施設・官公庁・自治体等の様々な団体から人事担当者など28団体にご参加いただき、福祉職や公務員への就職を希望する学生に対して就職や業界に関する説明・相談等を行っていただきました。各団体からは趣向を凝らしたプレゼン資料や入職間もない先輩社員のお話を聞かせていただく等、参加した学生は各ブースを積極的に訪れ、真剣な表情で説明を受けていました。また、教員がファシリテーターを務めたことにより、各団体の特色が引き出され、また学生から団体へも積極的な質問が出るなど、最後まで大きな賑わいをみせていました。



神田女学園中学校高等学校との高大連携に関する協定が締結されました

2021年9月3日(金)、本学と神田女学園中学校高等学校(東京都千代田区)が高大連携することについて、浅香正博学長と宗像諭校長の署名により協定が締結されました。本学が高等学校と連携協定を締結するのは12校目となります。

神田女学園中学校高等学校では、「高度教養コース」にMTクラス(メディカルテクノロジー)を持っており、医学・薬学・看護・医療技術分野への進学を視野に、高度医療社会の中で求められる知識・教養・スキルを身につけるクラスとなっており、医療系大学との連携によって本物のキャリア形成を行うことを特徴としています。また、進学においては地元だけではなく全国を視野に入れた進路指導を目指しており、今回、北海道で6学部9学科のある医療系総合大学の本学と連携し、今後は授業等の教育活動に対する支援を中心に連携していく予定です。



EDITOR'S NOTE

在学生、教職員の方、同窓の皆様にはお変わりなくお元気で過ごさるごこととお喜び申し上げます。今年は7月中旬頃から最高気温が30度を超えることが多かった札幌。立秋とは名ばかりで、真夏日が連続18日と1924年の最長記録を97年ぶりに更新、熱中症搬送者は全国で2番目の多さとなりました。暑さを避けるため、東京オリンピック種目の競歩とマラソンは早朝と夕方に札幌から世界に向けて号砲が発信されました。そのような中で、7・8月対面型のオープンキャンパスは新型コロナウイルス感染拡大防止のための配慮を行った上で実施され、在学生とのライブトークなど様々なプログラムにご参加いただきました。また、「スポーツ×医療・福祉」をテーマに特別プログラムが開催され、今年大躍進の本学硬式野球部との合同企画が成功を収めました。来年度から名称変更予定となっている「福祉マネジメント学科」の「スポーツ・マネジメントコース」新設に伴い、来春はスポーツの分野から医療大学に新たな息吹がもたらされます。一方で、本学は地域住民、教育関係者や学生等へのワクチン接種の拠点施設であり、職域接種が開始されました。暑さがこもる体育館は巨大な送風機がフル稼働し、浅香学長、学部長の見守る中、たくさんの方の協力を得て連日400人を超える当別町民や大学施設関連の方に接種を行っております。新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、本学職員が一丸となって学生の学びを止めない取り組みをそれぞれの立場で懸命に行っております。今後も学生が安心して学生生活を過ごせるよう引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様の厚いご支援を宜しくお願い申し上げます。(T.S記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.177

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ 昌伸也 中田 雅美 西郷 達雄 福田 実奈
長谷川 純子 児玉 壮志 田村 至 近藤 啓
高橋 祐輔 山形 摩紗 三浦 清志 三川 清輝
近田 卓哉

発行日 ● 2021年10月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL:0133-22-2113
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。